

日々新聞 第九号

大阪府下船越町小笹骨を葉とする松本  
の初遊傍の女王人を  
連立ち長柄堤を  
通るお川風寒死黄  
昏小四人の荒男跳りかり 二舟をもつて  
戦ふふとじめハ弱く云のうせしふ不作法少岸不  
強あり二を倒し上へ架り有るお松本はハ嵐  
早免しと置ささると四人の男を入りて馴のけ踏散  
手練の早業川ふんと投るもりり悪堂これハ  
恐と皆々是ハ二回跡白浪の川岸を灰チリ、抑  
遊散り元此いゝるゝ人の景かん父の劍法業術ハ定めて名を  
得し人柱も長柄の橋のらと絶て娘の勇気が匡らと感さぬ  
人ハありり

花源堂誌

